

宮路拓馬 FAX 国会通信

■ 木質バイオマス・竹資源活用議連の事務局次長に就任

4月16日、衆院選後初めての自民党の「木質バイオマス・竹資源活用議員連盟」が開催され、これまで父・宮路和明が就いていた会長ポストに河村建夫元内閣官房長官が就任され、私は事務局次長を仰せつかりました。

この議連は、これまで主に以下のような成果を挙げてきています。

- ① 再生可能エネルギーの固定価格買取制度における木質バイオマスの小規模発電の価格区分の導入
- ② 竹パルプ由来の紙製品をグリーン購入法の対象とする（公共調達の際に有利な扱いとなります）

鹿児島は、竹をはじめとする木材資源が豊富な地域であり、地方に雇用と富を生み出す木質バイオマス発電と木材資源の活用の推進は、まさに「地方創生」の最重要テーマの一つです。

今後、さらにバイオマス発電を推進するため、欧州の先進事例を参考にしつつ、残材利用・熱電供給の推進、林業用の路網整備などの検討を進めてまいります。



(4月16日 自民党本部)

■ 衆院原子力特別委員会で質問

4月23日の衆議院原子力問題調査特別委員会において質問に立ち、以下について質問を行いました。

- ① 原子力災害発生時の自衛隊のコミットメント及び専門部隊の設置
- ② 緊急時モニタリング体制の確保
- ③ 段階的避難の重要性の周知
- ④ UPZ の範囲内の隣接市町村に対する新たな交付金の創設

鹿児島県と薩摩川内市が議論に議論を重ねた上で同意し、我が国の原発再稼働のリーディングケースとなったことを踏まえ、今後も地元の切実な声を国政に届けてまいります。



(4月23日衆議院第13委員会室)

■ TPP 交渉、委員会決議の遵守を！

4月22日、自民党の部会において、谷垣幹事長もご出席の下、「日米閣僚協議とTPP交渉の状況」について甘利大臣より説明があり、議論が行われました。

米国におけるTPA法案の審議状況なども注視しつつ、衆参両院の農水委員会の決議が守られるよう、政府に働きかけてまいります。



(4月22日 自民党本部)

■ 有害鳥獣対策 鳥獣肉食の推進

4月23日、自民党本部にてジビエ議連(会長：石破茂大臣)によるジビエ料理試食会が開催されました。

地元鹿児島はもちろんのこと、日本全体で今後ますます有害鳥獣対策が求められる中、処分後の鳥獣肉の処理が課題となっておりますが、ジビエ料理の普及拡大はその大きな柱の一つです。

料理に舌鼓を打ちつつ、有害鳥獣対策の推進に向け、気持ちを新たにしました。



(4月23日 自民党本部)

■ みやじ拓馬、生徒になる！

5月13日、「国会議員のための世界一大きな授業 2015」が開催され、女子高校生の皆さんが先生となり、私を含む国会議員の生徒に対し、「世界中の子どもに教育を」をテーマとして授業が行われました。

昨年のノーベル平和賞受賞者のマララさんが「教育は貧困、無知、テロリズムと闘うための最強の武器」だと訴える中、世界ではいまだに5800万人の子どもが学校に通えていないとされています。

今後、そうした状況の改善に向け、日本がよりリーダーシップを発揮できるよう、努めてまいります。



(5月13日衆議院第2議員会館)

■ 東京にお見えの際は国会見学を

東京にお見えになる機会がありましたら、ぜひ議員会館にお寄りください。国会見学のご案内をさせていただきます。



(国会議事堂正面)